数字が読めるようになったよ

対象児:年少児ゆり組

作成日：2025年2月18日

作成者:八木京香

ねらい:数字に興味を持って読むことを楽しむ。

振り返り:最近、ゆり組では、数字に興味をもち始めている様子が見られています。友達同士で「これは2ってかいてある。いまは2がつだね。」「1と6できょうは16にちだね」と毎日、子ども達が出席ノートのシールを貼っている所に置いてある日めくりカレンダーを見て会話をしている姿が見られています。入園当初は、「今日はここに貼るよ」と毎日伝えていたのですが、今では日めくりカレンダーの数字を見て「今日はここにはる！」と言って自分達で貼っている姿も見られています。園では、活動する時間や給食の時間など、何分までにという言い方はまだ難しいと思ったので、数字に興味が持てるように「6の数字までに頑張ってみてね」と伝えたり、「11の数字になったら　ごちそうさまをするよ」と子ども達に見通しが持てるような声掛けをしたりしていくことを意識しています。続けていくことで、子ども達も自分から「11になったらごちそうさまをするんよな」と気付く姿も見られています。3学期になり、子ども達がどのくらい数字が分かっているのかを知りたかったので、絵本を借りる時に絵本の裏に書いてある数字を自分で読んでもらっています。すらすらと言える姿や、この数字は分かるけど、この数字は分からないといった姿があり、一緒に読みながら少しずつ数字に興味を持つことが出来るように活動をしています。その他にも絵本を読んでいる中で数字が出てきた時には一緒に数えたり、『すうじのうた』という歌をうたったりしています。いろいろな活動から一人ひとりの学びに繋がっていけたらと思っています。もう少し興味が出てきたら、次は書くことにも挑戦していきたいと思います。(協同性、社会生活との関わり、思考力の芽生え、数量・図形・文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い)